

取扱いの趣旨

IV型コラーゲン、プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）又はIV型コラーゲン・7Sは肝臓の線維化を反映するマーカーであるため、確定診断に至っていない慢性肝炎疑い等に対する算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和6年7月31日》

251 IV型コラーゲン、P-Ⅲ-P、IV型コラーゲン・7Sの算定について

○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対するD007「36」IV型コラーゲン、「37」プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）又は「40」IV型コラーゲン・7Sの算定は、原則として認められる。
- (1) アルコール性肝炎 (2) 非アルコール性脂肪性肝炎 (3) 原発性胆汁性胆管炎
(4) 自己免疫性肝炎 (5) 肝硬変
- ② 次の傷病名に対するD007「36」IV型コラーゲン、「37」プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）又は「40」IV型コラーゲン・7Sの算定は、原則として認められない。
- (1) 慢性肝炎疑い (2) 肝機能障害・肝障害（疑い含む。） (3) 脂肪肝（疑い含む。）
(4) アルコール性肝炎疑い (5) 非アルコール性脂肪性肝炎疑い (6) 原発性胆汁性胆管炎疑い
(7) 自己免疫性肝炎疑い (8) 肝細胞癌（疑い含む。）

○ 取扱いを作成した根拠等

IV型コラーゲン、プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）、IV型コラーゲン・7Sは、いずれも、肝臓の線維化を反映するマーカーであり、①に掲げる傷病名に対する測定は、肝臓の線維化のステージを診断し治療方針を選択する上で有用である。

以上のことから、①に掲げる傷病名に対する当該検査の算定は、原則として認められると判断した。

一方、②に掲げる傷病名に対する測定は、確定診断に至っていないため、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

- 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）
Ⅳ型コラーゲン、プロコラーゲン－Ⅲ－ペプチド（P－Ⅲ－P）又はⅣ型コラーゲン・7Sを算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（確定診断に至っていない慢性肝炎疑い等に対する算定）に該当するレセプト件数
- 2 折れ線グラフ
Ⅳ型コラーゲン、プロコラーゲン－Ⅲ－ペプチド（P－Ⅲ－P）又はⅣ型コラーゲン・7Sが
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

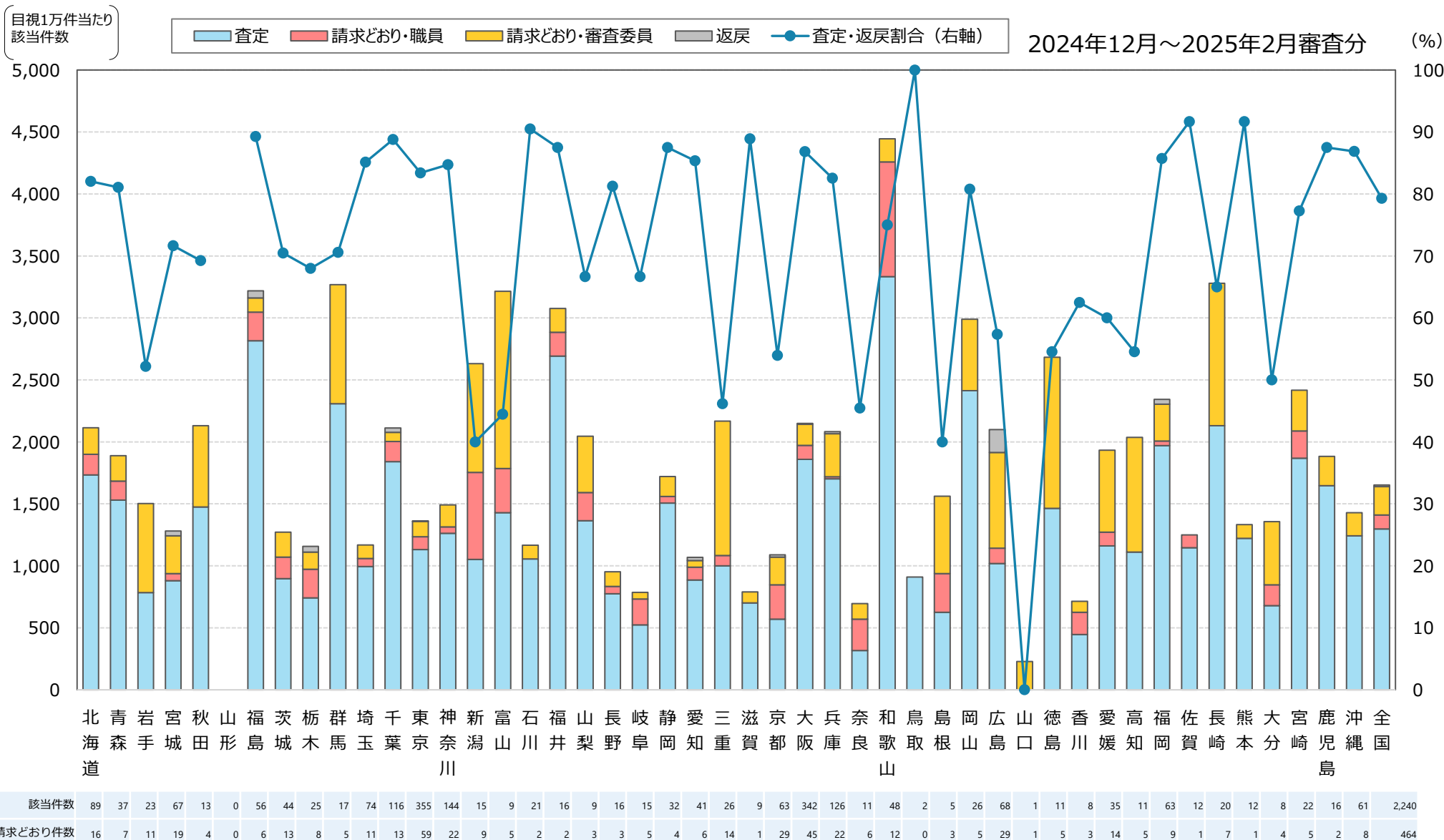
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 79.29%
- 検証対象都道府県 42

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	山口、新潟、島根、富山、奈良、三重、大分、岩手、京都、徳島、高知、広島、愛媛、香川、長崎、山梨	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	和歌山、新潟、富山、島根、京都、奈良、栃木、福島、山梨、宮崎、岐阜、福井、香川、茨城、大分、北海道	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	富山、徳島、長崎、三重、群馬、高知、新潟、広島、岩手、愛媛、秋田、島根、岡山、大分、山梨、兵庫	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,240件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,776件
検証を必要とする審査	請求どおり	464件



【該当件数】慢性肝炎疑い等に対してIV型コラーゲン、プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）又はIV型コラーゲン・7Sを算定しているレセプト件数